

京都芸術センター システム・ネットワーク環境について
現行（2025年）の環境を基に想定する基本的な構成要素

1. 運用期間

2026年5月1日～2031年4月30日（5年間）

2. ネットワークのリプレイス及び保守運用期間（5年間）の全体費用（上限想定額）

36,000,000円（税別）〔機器類調達費用/工賃/保守費用/ライセンス使用料など含む〕

※オンプレミス/クラウド、リース/買い切り等は問わず、安全で経済的な選択を期待する。

3. 機器要件

以下に記載する機器要件の仕様を満たし、別紙2に記載する現行の環境・仕様と同等以上の機器を納入すること。

その他、導入・設定に必要な機器は受注者負担で用意すること。

- 業務用PC〔ラップトップ・14inch・内臓カメラあり〕 …25台
 - OS、ソフトウェア〔windows11、OfficeあるいはMicrosoft 365等〕
 - ローカルネットワーク環境〔サーバ/NAS/クラウドストレージ等〕
 - ・共有ファイル（Excel・Word等の文書ファイル） …現状4.5TB使用
 - ・アーカイブ（事業の記録画像・動画） …現状3.5TB使用
 - データのバックアップ環境
 - セキュリティ〔firewall、アンチウィルス等〕
 - ルータ・スイッチ（北館・南館へのネットワーク用）
 - 無線アクセスポイント …施設内約20箇所（同時アクセス数は1台あたり20名前後）
 - ネットワークプリンタカラーレーザー複合機
 - （コピー／プリント／スキャナ／ファックス／折り／ステプラー／パンチ）
- *年間のランニングコストを考慮すること。

4. データベース運用の環境

- 事業および関係者データベース（現在Filemaker使用）…現状1TB未満

5. システム保守

- 機器類のメンテナンス
- システム運用に係わるサポート
- システムの状況やセキュリティに係わる定期的な確認、報告（月1回程度）
- ローカルネットワーク内のユーザーアカウント管理（PCセットアップ等の整備を含む、最低年1回、数名の入退職あり）
- 電気点検・停電時の対応（シャットダウン・再起動、動作確認等）（1回／年）

以上